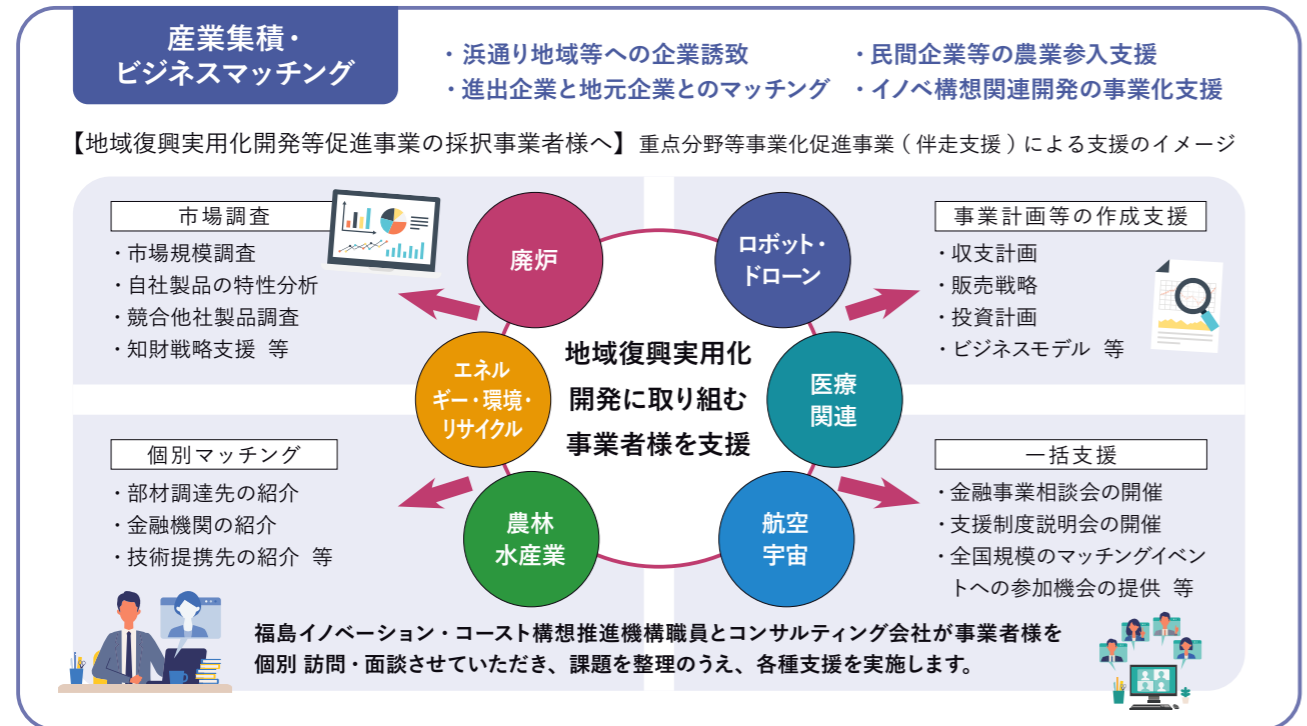


関連組織の紹介

- ・公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構
- ・公益社団法人 福島相双復興推進機構 (官民合同チーム)
- ・福島ロボットテストフィールド
- ・福島県ハイテクプラザ
- ・ふくしま医療機器開発支援センター

福島イノベーション・コースト構想推進機構

福島イノベーション・コースト構想推進機構（イノベ機構）は、本構想推進の中核的な機関として、平成29年7月25日に福島県が設立した法人です。福島復興再生特別措置法に基づく「重点推進計画」においても、イノベ機構を本構想推進の主要な実施主体として位置付け、国家プロジェクトである本構想の具体化を進めています。イノベ機構の主な取り組みは、以下の通り。



公益財団法人 福島イノベーション・コースト構想推進機構

住所 〒960-8043 福島県福島市中町1-19 中町ビル6階
 TEL (024) 581-6894〔代表〕 URL <http://www.fipo.or.jp>

福島イノベ

検索

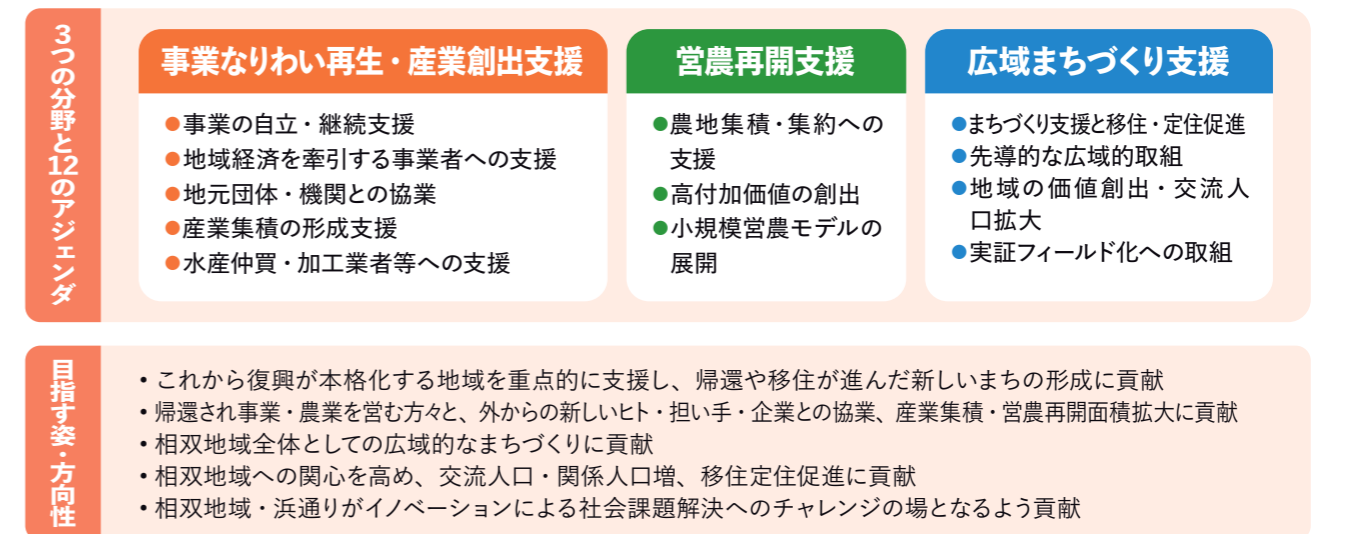


福島相双復興推進機構（官民合同チーム）

国・福島県・民間が一体となって被災事業者の自立に向けた支援の実施主体として、官民合同チームが平成27年8月24日に創設されました。

- ◆ 東日本大震災により被災し、福島第一原子力発電所及び福島第二原子力発電所事故に伴う避難指示等の対象地域となった福島県内12市町村（田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村）（以下「当該地域」という）の復興・創生
- ◆ 「東日本大震災当時、当該地域において事業を営まれていた方々」「浜通り地域等（当該地域並びにいわき市、相馬市及び新地町をいう）において水産関係の仲買・加工業等を営む方々」（以下「事業者」という）の事業再開・継続
- ◆ 東日本大震災当時、当該地域に居住されていた方々の生活再建等に寄与することを目的としています。

官民合同チームの第二期復興・創生期間の取組方針



「ロボット関連企業ガイドブック」のご案内

機械設計やソフト開発、部品製作など、ロボット製作に役立つ事業者の詳細情報を掲載した「ロボット関連企業ガイドブック」を作成しております。震災前から製造業が多数ある相双地区を中心に、高度な技術を持つ事業者を多数掲載しております。
<https://www.fsrt.jp/robot/>
 QRコードからアクセス出来ます→

「企業立地応援ガイド」のご案内

被災12市町村に進出する企業が新たな立地先で地元事業者と連携して円滑に事業活動を始められるよう、建設、工事等の事業基盤の整備に必要な地元事業者情報と併せ、飲食や生活関連サービス等、従業員等の生活基盤に必要な地元取扱い事業者の情報を提供するサイトです。
<https://www.fsrt.jp/supportnavi/>
 QRコードからアクセス出来ます→

「福島相双地域ビジネスマッチングプラットフォーム」のご案内

福島相双地域で製造業のビジネスパートナー探しを支援するため、地元事業者を紹介するマッチングサイトです。
<https://fukuso.biz/>
 QRコードからアクセス出来ます→

公益社団法人福島相双復興推進機構（福島相双復興官民合同チーム）

● 〒960-8031 福島県福島市栄町6-6 ユニックスビル4階 ● 電話：024-502-1115（代表） ● URL：<https://www.fsrt.jp>
 ● メール：kanmin_seizou@fsr.or.jp（産業創出グループ産業集積課担当宛て）

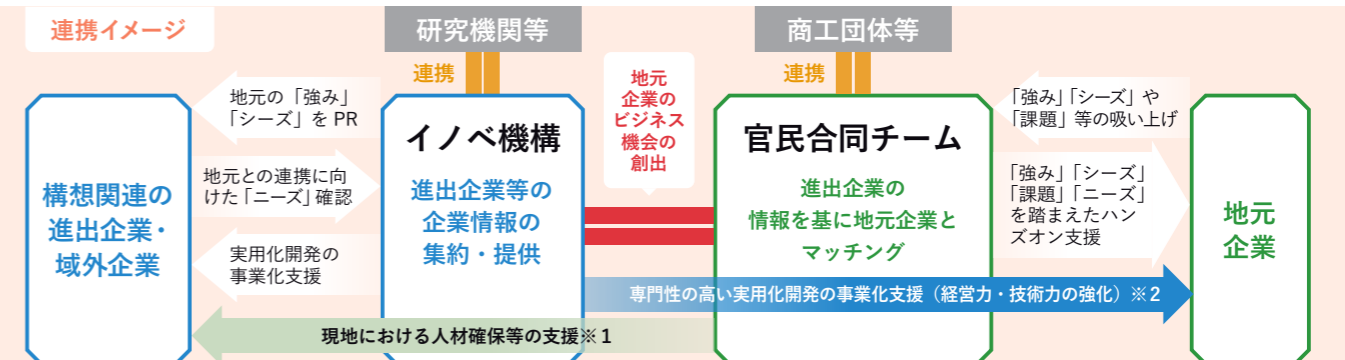
イノベ機構と官民合同チームの連携による取り組み

福島イノベーション・コースト構想の更なる推進のため、イノベ機構と官民合同チームが連携することで、域内外の企業が一体となった産業集積を促進し、地域経済の発展につなげていきます。

- ◆ イノベ機構は進出企業・域外企業の窓口機能を発揮し、官民合同チームは個別訪問により蓄積した地元事業者の情報を活用し、地元企業に寄り添ったハンズオン支援を行います。
- ◆ 専門性の高い実用化開発プロジェクトの事業化はイノベ機構が地元企業を支援し、進出企業が課題を抱えている人材確保については官民合同チームが支援します。



連携協定締結式（2018年10月3日）

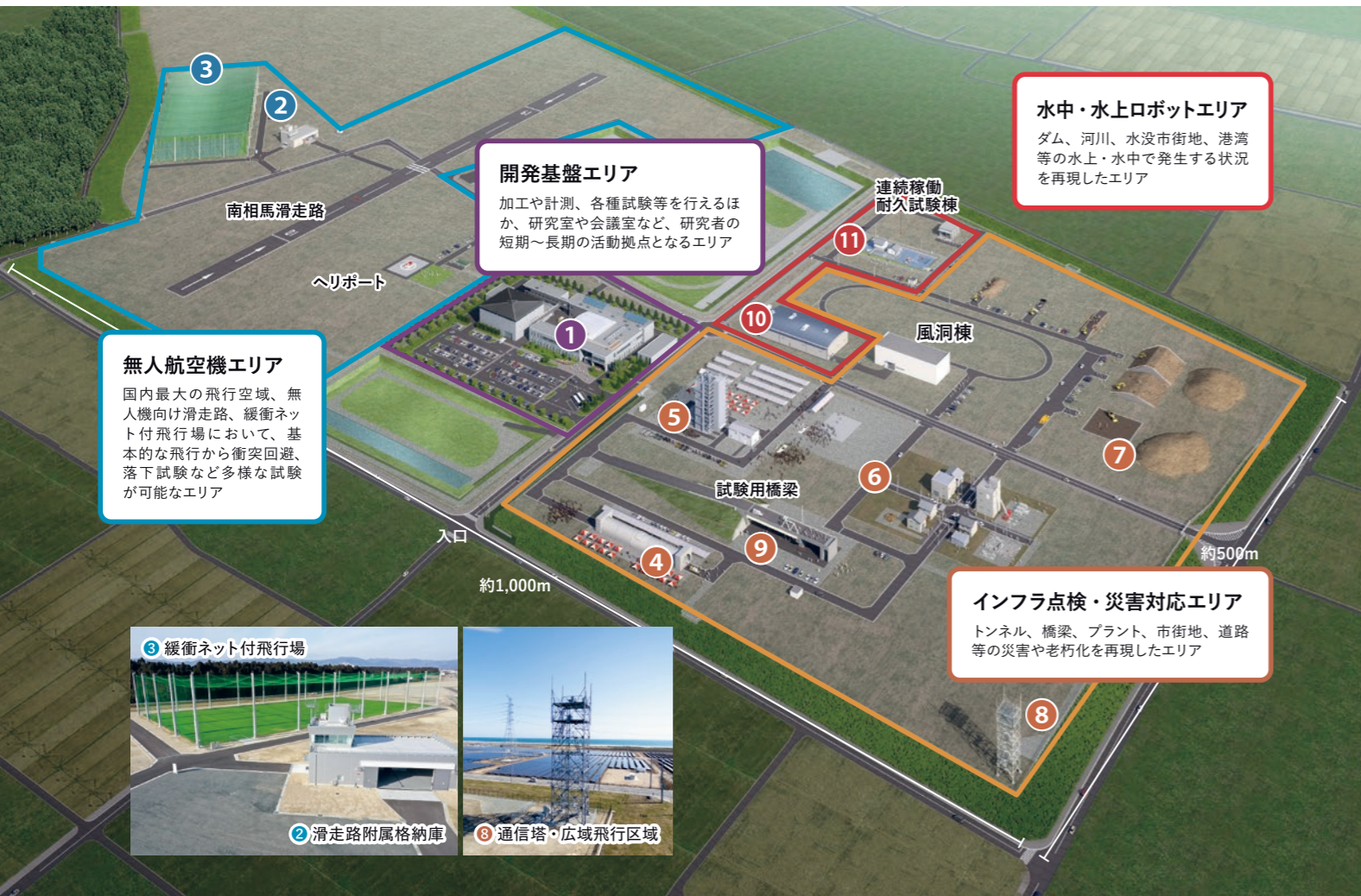


※1 進出企業等の人材確保ニーズの収集・提供を行うなど、イノベ機構も協力

※2 実用化開発プロジェクトの開始に向けた経営支援、技術支援、補助金申請支援を行うなど、官民合同チームも協力

福島ロボットテストフィールド

FUKUSHIMA
ROBOT
TEST FIELD
福島ロボットテストフィールド



◆ 開発実証拠点

「福島ロボットテストフィールド」は、物流、インフラ点検、大規模災害などに活用が期待される無人航空機、災害対応ロボット、自動運転ロボット、水中探査ロボットといった陸・海・空のフィールドロボットを主対象に、実際の使用環境を拠点内で再現しながら研究開発、実証試験、性能評価、操縦訓練を行うことができる、世界に類を見ない一大開発実証拠点です。本拠点は、南相馬市・復興工業団地内の東西約1,000m、南北約500mの敷地内に「無人航空機エリア」、「インフラ点検・災害対応エリア」、「水中・水上ロボットエリア」、「開発基盤エリア」を設けるとともに、浪江町・棚塩産業団地内に長距離飛行試験のための滑走路を整備しており、2020年3月31日に全面開所いたしました。



◆ 研究棟 左ページのマップ①参照

福島ロボットテストフィールドの本館としての機能を持ち、各試験の準備、加工・計測に加えて、ロボットの性能評価のための風、雨、防水、防塵、霧、水圧、湿度、振動、電波に対する試験を行うことができます。また、研究者の短期～長期の活動拠点としての利用、事務所の開設、大規模な会議・展示会の開催も可能です。さらに、棟内に併設する福島県ハイテクプラザ南相馬技術支援センターにより、設備の利用支援やロボット技術等の技術相談、開発支援等を行います。



◆ 研究室入居者 (五十音順) 令和5年3月1日時点

事業者名	本社	研究開発対象	事業者名	本社	研究開発対象
(株)プロドローン	愛知県	大型ドローン	(株)東北ドローン	宮城県	ドローン運用ユースケース
(株)デンソー	愛知県	橋梁点検ドローン	テトラ・アビエーション(株)	東京都	空飛ぶクルマ
(国研)海上・港湾・航空技術研究所	東京都	航空機位置探知システム	東北大学 未来科学技術共同研究センター	宮城県	自動走行、EV
(株)ロボデックス	神奈川県	水素燃料電池ドローン	会津大学 復興支援センター	福島県	災害対応ロボット
会澤高圧コンクリート(株)	北海道	インフラ点検用ドローン	(一社)ふくしま総合災害対応訓練機構	福島県	総合災害対応訓練、災害対応ロボット実用化
(株)先端力学シミュレーション研究所	東京都	ドローン用部品	(株)メルティン MMI	東京都	アバターロボット
総合警備保障(株)	東京都	警備用ドローン	(株)リビングロボット	福島県	パートナーロボット
東京大学 航空宇宙工学専攻 土屋研究室	東京都	ドローン性能評価手法	(株)クフウシヤ	神奈川県	自律移動ロボット
AZUL Energy (株)	宮城県	ドローン用軽量電池			

information

設備機器等や使用料は、福島ロボットテストフィールドのホームページをご覧ください。



福島県ハイテクプラザ

工業振興のために様々な技術支援を行う
県立の試験研究機関です。



会津若松 技術支援センター

〒 965-0006
会津若松市一箕町大字鶴賀字
下柳原 88-1 (会津大学 西隣り)

TEL : 0242-39-2100
FAX : 0242-39-0335



南相馬 技術支援センター

〒 975-0036
南相馬市原町区萱浜字新赤沼 83
(福島ロボットテストフィールド内)

TEL : 0244-25-3060
FAX : 0244-25-3061

主な事業

技術開発

県内の**ものづくり企業に
直接役立つ** 研究開発を
行っています。

- 各分野の先導的研究や、企業の課題を解決する技術開発を行います。
- 県の重点施策や企業のニーズに沿った研究開発を行うことで、ものづくり企業の新技術開発や新分野への進出を強力にサポートします。
- 独自の技術開発のほか、企業からの受託研究、共同研究も承っています。

研究分野例



技術相談

年間約 **3,500 件** の
技術相談の実績があります。

- 豊富な知識を持った各分野の職員が問題解決に向けて、無料でアドバイスを行います。
- 電話・対面・オンラインなどで相談ができます。



依頼試験

専門の職員が試験を行い、
信頼のある成績書を発行します。

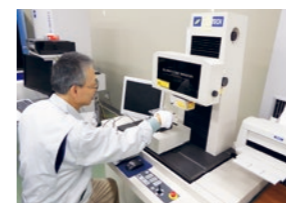
- 試料等をお預かりし、有料で職員が試験を行います。**(要予約)**
- 試験項目の詳細は電話等でお問い合わせいただくか、ハイテクプラザ HP をご覧ください。



設備開放

時間単位の設備利用で、
あなたの研究室に変わります。

- 分析機器や加工機など、設備を有料でお使いいただけます。**(要予約)**
- 各種設備を時間単位で利用することで、コスト削減や効率向上に役立ちます。
- 設備の詳細は電話等でお問い合わせいただくか、ハイテクプラザ HP をご覧ください。



人材育成・情報提供

ものづくり現場の
技術力向上を支援します。

- 機器の使用方法から、インターンシップ、研究会、セミナーまで、ものづくり現場の技術力向上に役立つ研修等を行っています。
- 職員を講師として派遣することも可能です。



information

福島県ハイテクプラザ (郡山本部)

〒 963-0297 郡山市待池台 1-12 (西部第二工業団地内)
TEL.024-959-1741 FAX.024-959-1761

公式 HP <https://www.pref.fukushima.lg.jp/w4/hightech/>



公式 HP



YouTube

ふくしま医療機器開発支援センター

医療機器の開発から事業化までを一体的に
支援する国内初の施設です。



機能 ① 安全性評価

試験所の運用能力に関する公的認定である ISO/IEC17025 対応。
(認定範囲:EMC 試験 / 電気安全性試験 / 化学試験 / 環境試験)医療機器 GLP,AAALAC 完全認証取得。



生物学的 安全性試験

大型動物(実験用ブタ)を用いた埋植試験(筋肉内・骨内・皮下・血管内)や各種評価試験に対応します。

【主要な施設・設備】

- 手術室×2
- アンギオハイブリッド手術室×1
- MRI (1.5T)
- 飼育室 (ミニブタ 100 ~ 150 頭程度飼育可能)



電気 物性 化学的 安全性試験

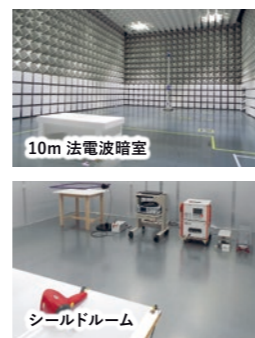
国内では数少ないX線遮蔽機能を有する電波暗室を備えるほか、恒温恒湿室を始めとした各種環境試験機器、RoHS 指令物質分析を実施できる各種分析装置などにより、幅広い評価試験に対応します。

【主要な試験項目】

- ▶ EMC試験：●放射/伝導エミッション試験 ●各種イミュニティ試験
- ▶ 電気試験：●耐電圧試験 ●漏れ電流試験 ●温度上昇試験 ●電源入力 ●アース導通試験
- ▶ 物性試験：●機械的強度試験 ●疲労試験 ●ねじり試験
- ▶ 環境試験：●振動試験 ●防水試験 ●防塵試験 ●温湿度試験 ●落下試験
- ▶ 各種分析：●RoHS 指令対象物質分析 ●溶出成分測定 ●残留溶媒分析

【主要な施設・設備】

- ▶ EMC試験：●10m 法・3m 法電波暗室 (X線遮蔽機能付)
- ▶ 電気試験：●シールドルーム
- ▶ 環境試験：●防水試験装置 (IPX1 ~ X7 対応) ●防塵試験装置 (IP1X ~ 6X 対応) ●恒温恒湿室
- ▶ 化学分析機器：●ICP-MS ●GC-MS ●LC-MS/MS ●XRF



機能 ② 人材育成・トレーニング

臨床現場に即した環境で、各種トレーニングの場を提供!

- 1 実際の医療機関で用いられる各種医療機器を取り揃えた手術室や、臨床用ポリグラフを備えたアンギオハイブリッド手術室(血管撮影室)で、医療技術者の為の各種トレーニングにご利用頂けます。
- 2 研修室は病室モデルとして利用でき、各種人体シミュレータによる医療処置トレーニング等、医療に貢献する人材の幅広いトレーニングにご利用頂けます。
- 3 医療機器開発に携わる企業の方々にも同様の環境を提供することができます。



【使用可能時間】9:00 ~ 21:00

【主要な施設・設備】

- 模擬手術室 (手術台 2 台)
- アンギオハイブリッド模擬手術室 (手術台 1 台) (ビデオ会議システムにより、手術室・研修室間の双方向通信が可能)
- 血管造影 X 線撮影装置 ● 外科用 X 線発生装置 (C アーム)
- 内視鏡装置 ● 超音波凝固切開装置 ● 高周波手術装置
- 超音波画像診断装置 ● 血管内超音波画像診断装置 (IVUS)
- 臨床用ポリグラフ



【主な設備・備品】

- 模擬 ICU ユニット (酸素・空気・吸引)
- 高機能成人患者シミュレータ ● 高機能乳児患者シミュレータ
- フィジカルアセスメントトレーニングモデル ● AED トレーニングモデル
- 吸引シミュレータ ● 採血静注シミュレータ ● 筋肉注射モデル
- CVC 穿刺挿入シミュレータ ● 気道確保困難症例トレーニングモデル
- 腰椎・硬膜外穿刺シミュレータ ● 心電計 ● ベッドサイドモニタ
- 除細動器 ● 人工呼吸器 ● 輸液ポンプ、シリンジポンプ

※ほかにも保有備品がございます。利用時はお問い合わせください。

機能 ③ コンサルティング・情報発信

医療機器分野への新規参入・事業化を総合的にサポート!
企業ごとの個別支援体制でスムーズな医療機器の開発・改良に貢献します。

機能 ④ マッチング

“ふくしま”だからできる、事業化のスピードアップ!
企業のビジネスチャンスの拡大と、製品開発の促進を図ります。

information

ふくしま医療機器開発支援センター

公式 HP <https://fmddsc.jp/>



